

日本共産党

# うらわ宿

日本共産党浦和区後援会ニュース  
2016年7月号・61  
浦和区北浦和3-14-16  
TEL/FAX 048-833-4515  
\*\*\*\*\* (部内資料) \*\*\*\*\*

## 比例は日本共産党 埼玉は伊藤岳を必ず!

市議会議員 とりうみ敏行

後援会の皆さん

いつも選挙へのお力添えに感謝申し上げます。今度の参院選は、憲法を踏みにつけて戦争法を強行した安倍自公政権の独裁政治をこれからも続けさせるのか、それとも、憲法と平和を守り、国の土台となつて立憲主義を取り戻し、国民の声が届く新しい政治を実現するのか、二つの道の選択が問われている選挙です。

日本共産党は、安倍自公政権を今度の選挙で少数勢力に追い込むために、32の1人区での野党の選挙協力を実現させました。戦後初めての、野党と市民との選挙協力の実現に、多くの無党派層からも歓迎の声が上がり、公示3日目の世論調査では、無党派層の5割が、与党統一候補を支持すると答えています。

22日の公示日、浦和駅東口の伊藤岳候補第一声には1,500

人の聴衆で溢れました。「安倍政権の独裁を絶対に許さない。何としても国会へ送り出して下さい」と熱く語り、大きな拍手と、必ず勝利するとの熱気に包まれました。この日、安倍首相は、憲法改悪の本音を隠して憲法問題に触れず、もっぱら「アベノミクス」の継続が争点だとして、自分に都合のいい数字だけを挙げて、「アベノミクスは道半ば。これからだ」と、一層の継続を訴えました。公明党は、大宮駅で山口代表が演説し、「民共一票もわたすな」と檄を飛ばしました。

後援会の皆さん!

選挙戦は中盤から後半へと入りました。いろいろな世論調査や、報道がこれからもっともらしく出てくる時期です、他陣営から反共攻撃も激しくなります。党と後援会が一丸となって跳ね返しなごら、「比例は日本共産党へ」「埼玉は伊藤岳へ」と全国の友人、知人、ご親戚に声をかけてください。最後の最後まで、日本共産党の躍進のために力を合わせましょう。私も全力で頑張ります。



伊藤岳候補の第一声は浦和駅東口で元気に行われました(写真左)。県庁のそばの伊藤事務所には、G9(がく)サポートステーションも併設され、連日様々な人が支持を広げる活動をしています(写真上・右)。

## \* 耳より情報 \*

### 選挙・後援会宣伝

- 6月23日(木)~7月9日(土) 参院選期日前投票
- 7月1日(金) 浦和駅西口(午前7時半~) 伊藤岳街頭演説会
- 7月3日(日) 浦和駅頭宣伝(午後6時~8時・予定)
- 7月5日(火) 大宮駅西口そごう前(午後6時~) 日本共産党街頭演説会/志位委員長来る
- 7月8日(金) 浦和駅頭宣伝(午後6時~8時・予定)
- 7月10日(金) 参院選投票日(午前7時~午後8時) 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるオール浦和区の会
- 7月22日(金) 浦和駅東口宣伝(午後5時~6時) 第1回呼びかけ人会(午後6時半~) 「九条俳句」違憲訴訟
- 7月8日(金) さいたま地裁(午後2時~) 第6回口頭弁論



## 後援会の皆さんへ

### 投票のやり方

投票用紙は、2回わたされます。1枚目には「伊藤岳」と書きます。2枚目は「日本共産党」または「共産党」と書きます。それでOK!



日本共産党

伊藤岳

選挙区選挙は候補者名を書き、比例代表は政党名を書きます。政党名は正式でなくても、一般的に使われている「共産党」でも大丈夫です。

## うらわ宿文芸

### うらわだいい

アベノミクス  
いいえ、「ダメノミクス」です。  
国民

(岸町・佐久間純)

### 狂歌

懐剣が  
バレないように  
折れた矢で  
道半ばなりと  
民を欺く

(東口・さぶ老)

### 川柳

かくれんぼ都民が怒り恥事となし  
不逞知事担いだ責任頼かむり  
知事候補金権勢力以外から  
ザル法を樽に変えよう政治マネー

(東口・さぶ老)

甘利さんあまりにひどい疑惑です  
乱高下わが財布も乱高下  
舛添氏疑惑晴らす辞めて行き

(岸町・だん吉)

### 俳句

立ち枯れの水が天をつく登山口  
歩幅大きくまた小さく登山靴  
雪深に憩へり杖を深くさし

(本太・YY)

ちよつど一年前の七月三日、三人の子どもを育てる二七歳のお母さんがネットで呼びかけて発足した「安保関連法案に反対するママの会」。「だれの子どももこころさせない」を合い言葉に、なんと一日で二〇〇〇人以上の賛同者を集めました。子育てから遠ざかった今でも、きれいな事ではすまないその忙殺感を思い出し、現役子育て真っ最中の彼女のどこにそんなエネルギーが、と驚きました。それこそが子育てのおおもとなんだと気づいたのも、恥ずかしいことに一拍おいてから、安倍の暴走政治を止めるのもだれかでなくあなたであり私だと、自分の言葉で語れる若い人たちに信頼を寄せ、あの時から新しい歴史がわくわくしながら迎えるたいものです。(ち)

毎月3日の午後1時、「アベ政治を許さない」を掲げる。という澤地久枝さんの呼びかけで、国会前に足を運んでいます。行く度に安倍政権に対する怒りが増します。

今回の参院選で是非、安倍政権を倒し、未来を担う若者の為に、ブラック企業、高学費の問題に取り組んでいきたいと思えます。(木崎・I子)

私が感銘を受けた「子どもが育つ魔法の言葉」(ドロジー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス共著 石井千春訳 PHP研究所)という本にある次の言葉を、暴言やカネの問題を引き起こす政治家に聞かせたい。参院選に臨み、子どもの鏡になるような政治家を選んでほしいと思えます。

「分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ」「子どもに公平であれば子どもは正義感のある子に育つ」「和気あいあいとした家庭で育てば、子どもはこの世はいいところだと思えるようになる」(元町・H)

野党共闘が全国1人区すべてにできて本当に嬉しい。この力を共産党の躍進につなげたい。埼玉では是非とも、伊藤岳さんを国会に送り出したい。(本太・小川洋夫)

テレデータを使って岸町の人に電話で支持をお願いしています。今までに35人と対話しました。「アベノミクスといっても実感がない」「安倍さんは怖いね。顔も見たくないよ」「比例は社民だけど、埼玉では伊藤さんに入れるよ。野党が共闘できて、うれしい」など、話が弾みました。

ハンドマイクで宣伝をしていると、わざわざピラを受け取りに来る人や、話しかけてくる人もいました。「戦争法」を廃止し、憲法を守るために必ず今度の選挙は勝利しましょう。(平和委員会・二橋元長)

私はいま30代、これからの日本を生きていく。そして私より若い人々は、もっと長く日本で生きていく。戦争する国、人が住めない国になんて許さない! 安保法なんて許さない! 原発再稼働絶対反対!! それを実現してくれる共産党に投票したいと思っています。(前地・FM)

はじめて投票の大学2年(19歳)の女子です。自分の権利を生かしたいです。また、政治についての知識を増やしたい。消費税は8%のままに、ブラック企業もなくしたいです。(お父さんが浦和区に勤務・YK)

# 一言メッセージ続々!



大学1年(はじめての投票)の男子です。権利だから投票に行きます。今一番の関心事は大学で学んでいることです!(北浦和・神田響)

「憲法解釈の自由は内閣総理大臣に与えられた最高の権利である、従って憲法九条の解釈を変更するのは私の権利である」(安倍首相)、これは独裁政治の始まりである。安倍自公政権をたおすため共産党に頑張ってください。

「自然は有限、欲望は無限、生態系を絶滅して人間だけ生き残れるか! 否! である」事故の責任を曖昧のまま原発再稼働、若者や中小企業をいじめるアベ政治は変えて、希望ある社会実現に奮闘してください。(領家・S男)

6月25日の各紙新聞報道によると「改憲勢力が3分の2を覗う勢い」と書かれていますが、職場の労働者の反応はこれまでにないものです。

これまで色々と話しかけても答えてくれなかった人、共産党への支持を口にしなかった人などが、向こうから「安倍さんはおかしい」「共産党頑張ってください」と言ってきます。しかも、その傾向が日を迫らして強まってきているのです。

世論調査を見ても国民の多くは「憲法を変えることに反対」「9条守れ」と考えています。嘘とベテンのアベノミクスが剥がれ落ちる中で、今こそ共産党の出番です。孫から「おじいちゃん、なんで戦争に反対してくれなかったの?」と言われないように頑張りましょう。そして美味しいお酒を皆で飲もうではありませんか。(元町・平山安通)

7月10日参院選投票日を目前に控え、元参議院議員富樫練三さんに、今回参院選の歴史的意義、争点、戦いの展望について寄稿していただきました。

## 今回の参院選の歴史的意義、争点についてお願いします

第一は「戦争する国へ暴走する安倍内閣」「立憲主義破壊・民主主義否定の安倍内閣」を打倒し、平和と民主主義を守る歴史的選挙です。第二は、35年ぶり(1980年の社公合意による野党共闘破壊以来)の野党共闘が実を結び全国32の1人区の全てで統一候補でたたかうこととなり、「自・公+補完勢力」対「4野党+国民・市民」という対決の構図が明確になったことです。さらに、先の国会で15法案が野党共同で提出され「安保法制=戦争法」反対だけでなく、野党間での政策的一致が大きく広がり、この点でも歴史的選挙です。

選挙の争点についてですが、「安倍暴走政治」の全てが争点であり、国民の審判を受けるものです。安保法制と安倍改憲、アベノミクス、消費税、労働法制、子育て、年金・介護・医療などの社会保障、TPP、原発、沖縄米軍基地問題などの「安倍暴走政治」のすべてに「ノー」の審判を下すことです。そのうえで、なんといっても一番の争点は「『安保法制=戦争法』を廃止すること、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回し、立憲主義を回復することです。」

## 野党共闘の意義、埼玉県での展望についてお願いします

全国32の1人区のすべてで野党統一候補が実現したことはまさに画期的なことです。複数区については、野党がお互いに競いあ

て、自公+補完勢力を少数に追い込むことで一致しています。したがって3人区の埼玉では共産党の伊藤岳候補と民進党の大野元裕候補の当選を目指してそれぞれの陣営が全力で頑張ることになります。それぞれの立場で政策的にも支持拡大でも自公+補完勢力を追い詰めることです。

野党共闘の今後についてですが、東京都知事選は1人区ですから参院の1人区のように野党が一致して候補者を擁立する方向で努力していくことが大事だと思います。今後の野党共闘については、衆議院の小選挙区(1人区)で、「できる限りの協力を行う」ことが5

# 「安倍暴走政治」のすべてに「ノー」の審判を!!

元参議院議員 富樫練三さんに聞く

月19日の野党党首会談で確認されています。全国295、埼玉で15の選挙区で野党統一候補が実現すれば、まさに歴史的な選挙になります。

かつて富樫さんが当選した時は得票率で19.9%、56万票余獲得しましたが、今回選挙に通ずる点も多いと思います。伊藤岳さん、おくだ智子さんへの応援メッセージ、後援会のみなさん、支援者の皆さんに激励のメッセージもお願いします

98年に私が当選した時の選挙は埼玉を含めて全国が前進しました。比例で820万票、14.6%、8人当選。選挙区で887万票、15.9%、7人当選で、非改選8人と合わせて23人の議員

団になりました。選挙区では、複数選挙区で4人区の東京、3人区大阪・埼玉・神奈川・愛知、2人区の京都・兵庫で当選し、自民党が3、4人区で全滅しました。従って埼玉という一地方の前進ではなく、全国の前進でした。

その前進の要因についてですが、一つは自民党橋本内閣の失政に対する国民の厳しい審判が下ったのだと思います。橋本内閣は、消費税増税・医療費値上げの強行などで戦後最悪の消費大不況を引き起こしながら、銀行・ゼネコン応援の景気対策に固執しました。これに国民は厳しい審判を下したので

今回も景気・経済情勢は類似していると思いますが、安倍政権は失政を隠蔽している。メディア対策が当時とは比較しようがないほど巧妙になっていると思います。

伊藤岳さんは、埼玉県全県にわたって戦争法反対をはじめ原発、TPP、基地、消費税、社会保障、子育て、奨学金問題など国民の願い実現の先頭にたってきた若きリーダーです。

比例代表のおくだ智子さんは、市議・県議を経験し、試され済みの素晴らしい政治家です。伊藤さん、おくださんの2人にはぜひ国会で頑張してほしいと思えます。

ここ埼玉県で、自公勢力にうち勝つことが本物の未来を開くことにつながっていくと思えます。ともに頑張りましょう。



街頭で演説を聴いていた親子と握手する伊藤岳候補